

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		れつつ中庄		公表日		令和 7年 3月 1日	
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点		
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	6	0	個別スペースは構造化し、遊びのエリアは人数によって広さを変えられるよう間仕切り使用する等、利用児に応じて適切なスペースは確保できている。	柔軟に対応していく。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	6	0	規準配置を遵守している。	引き続き基準配置を遵守していく。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	6	0	個々の特性や活動内容に応じて、柔軟に構造化を組み替えている。	段差や通路の狭さがあるため、利用児にとってバリアになる場合は、環境を再検討していく。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	6	0	感染症対策の面でも、利用終了ごとにエリアや用具の消毒、清掃を実施。	引き続き、感染症流行時期に限らず、提示清掃を行っていきます。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	6	0	個別活動に限らず、グループ活動も必要に応じて一人、二人の少人数から始めることがある。	引き続き、個々の状況に応じて柔軟に対応していく。	
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	5	0	定期的に職員会議を実施。また、必要に応じて追加の会議も行っている。職員数も多くはないため、日々情報共有に努めている。		
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5	0	毎年実施しており、業務改善に繋げている。	引き続き実施していく。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6	0	毎年実施しており、業務改善に繋げている。		
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	0	6	外部講師による研修を実施している法人。内での内部監査を実施している。	第三者による外部評価は実施していない。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	6	0	法人全体の研修が、月に2-3回あり、障がい部門の研修が月に1回ある。	虐待防止や保健衛生、防災、事例検討など多岐にわたる研修を開催している。	
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	6	0	令和6年12月にホームページにて公表している。		
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	6	0	発達段階や関わりレベルなど評価表を用いてアセスメント。課題の把握や支援計画に活かしている。	フォーマルアセスメントやインフォーマルアセスメントの幅を広げていく。	
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	6	0	基本的に全職員での会議を開催。欠席等あった場合は、後日共有する機会を設けている。		
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	6	0	会議にて全職員で検討する事で、共通した認識のもと支援を行う事ができている。		
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	6	0	利用開始時と定期的にフォーマルアセスメントを行い、日々の支援は行動観察から分析を行っている。		
	16	児童発達支援計画には、「児童発達支援ガイドライン」の「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	6	0	全児童、本人支援、家族支援、移行支援の項目を欠かすことなく計画に組み込んでいる。また、立案時には支援会議内で職員間で協議し、ご家族に確認を頂いた上で開始している。		
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	6	0	立案する職員をローテーションで組み、全員で共有している。		

児 供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	6	0	集団活動は、利用メンバーや発達段階に応じて、1ヶ月ごとにプログラムを作成しており、個別活動は、職員が変わる時は支援内容の共有を行っている。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	6	0	発達段階に合わせて計画・支援を行えるよう努めている。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	6	0	朝のミーティングを実施し、共有した上で支援を開始している。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	6	0	1部、2部終了後に振り返り・打ち合わせを実施し、早期の共有を図っている。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	6	0	支援内容を記録、特記を引き継ぎ時に共有している。	
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	6	0	定期的に実施している。	
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	6	0	可能な限り、管理者と支援職員2人で参加している。	
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	6	0	迅速に対応できるよう、体制を整えている。	
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	6	0	必要に応じて園訪問・担当者会議を行い情報を共有している。	
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	6	0	就学に向けて、全利用児の療育の報告書を作成している。	
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。	/	/		
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会子ども部会や地域子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	0	6	地域の児童発達支援センターとのスーパーバイズや助言を受ける機会は、なかった。	必要に応じてスムーズな連携がとれるよう、繋がる機会を設けていく。
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	0	6	当事業所が主だった開催ではないが、他部門と連携することで、イベントを開催している。	
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	6	0	送迎時、連絡帳にて情報共有をしている。	
34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	5	1	面談等で具体的な支援方法を提案する、支援内容を実際に見てもらおう等、ご家庭の状況に合わせた保護者支援を行っている。	引き続き、研修に参加する等スキルアップに繋がるよう努める。	
35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	6	0	契約時または内容の変更時に説明をしている。		
36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	6	0	常に本人の意思の把握に努め、支援計画は、計画書の段階でご家族に確認して頂き、本案		

保護者への説明等	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	6	0	を立てる事としている。	
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	6	0	定期的に面談を実施している他、要望があれば適宜相談に応じるようにしている。	
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	6	0	茶話会、保護者の座談会など、状況を見ながら実施出来るよう検討したい	
	40	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	6	0	定期的に面談を実施している他、要望があれば適宜個別相談、電話相談に応じるようにしている。	
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	6	0	会報は無いが、ホームページで活動報告を発信している。またアプリにて活動の写真を送るようになっている。	今回の保護者アンケートで、ホームページをご存じでない保護者の方もおられたので、改めて周知した。
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	6	0	ホームページ掲載時には個人名が見えないよう修正を行っている。会議等で持ち出す場合は持ち出し記録簿に記入している。	
	43	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	6	0	利用児、保護者に合わせた伝え方が出来るよう努める。	引き続き、口頭や書面、イラストやジェスチャーなど、対象の方に合った方法でお伝えしていく。
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	3	3	今年度も、敷地内の高齢施設が実施するハロウィンに兄弟児や地域の小学生などと一緒に参加した。	
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	6	0	いずれのマニュアルも策定している。訓練は、今年度は2回実施している。	保護者の方への周知・説明は不十分であったため、今後伝えていく。
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	6	0	感染症・非常災害時のBCPを策定している。年に2回様々な災害を想定して避難訓練を実施。	全利用児が参加できるよう計画、実施していく。
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	6	0	契約時に保護者に記入してもらい確認している。	
	48	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	6	0	契約時に保護者に記入してもらい確認している。	
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	6	0	年間の安全計画を策定し、定期的な点検を行っている。	
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	6	0	事務所にいつもで確認できるよう、安全計画書を設置している。	
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	6	0	法人部門内全体で共有できるようにしている。	
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	6	0	虐待委員が中心となって研修会の開催や振り返りを行う機会を作っている。	
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	6	0	虐待防止委員が中心となって障がい部門全体を把握。保護者に説明し支援計画に記載している。	